

まるるで本物 ダイヤヤの歯

中央歯科補綴研究所

(目黒区)

オフィスのドアを開けると、社員が皆立ち上がり、元気なあいさつで迎えてくれる。平均年齢三十三歳。中学時代に歯科技工士を志した木村社長が二十四歳で独立して創業。平成の時代とともに株式会社化して今年で二十六年になる。

虫歯などの治療に使われるかぶせ物や義歯などの補綴物を手掛けるが、主力製品の素材は「人工ダイヤモンド」



木村 正社長(52)

23区の企業力

「ンド」として知られるセラミックの一種、ジルコニア。保険適用外(自費治療)だが、金属に比べてアレルギーを起こしにくく、見た目も本物の歯に極めて近い。オリジナルの人工歯は「ダイヤモンドクラウン」として六年前に商標登録し、この秋にはさらに透明感が高く、前歯にしても本物と見分けのつかない新商品を発売する予定だ。

従来は患者自身が人工歯まで指定することは難しかったが、同社はホームペー

◆1989年設立。社員30人、年商2億3000万円。目黒区自由が丘1の3の21。電話03(3725)1995。

ジ上で提携する医院を紹介するだけでなく、同社の補綴物の使用を歯科医師に依頼できるように「製作依頼希望書」を印刷用にあップするなど、「患者が選ぶ時代」に向けて画期的な試みにも挑んでいる。

「日本一の歯科技工所を創る」のが目標。そのため「社員満足度を日本一にする」と言い切る。「顧客満足度を高めないと事業の成功はない。でも、質の高いサービスや製品を担うのは社員ですから」。毎日の朝礼で全社員と握手を交わし、愛情と熱意を伝える。(矢島智子)